

ふれあい倶楽部 「まめでがんす」会員限定旅行

21日▶24日

JA広島市で公的年金をお受け取りいただいている組合員の方を対象としたふれあい倶楽部「まめでがんす」は、毎年恒例の会員限定旅行を開催。総勢895名が21～22日と23～24日の2班に分かれ、氷川きよしさんのコンサートと日田豆田町のひなまつりや宇佐神宮など杖立温泉・天ヶ瀬温泉2日間の旅を満喫しました。



NHK「ひるまえ産直市」 広島菜漬販売

20日

毎週火曜日に開催されるNHK「ひるまえ産直市」で、広島菜漬センター職員が広島菜漬のPR販売を行いました。ご試食いただいた方から「おいしいね」の言葉とともにご購入いただき、広島菜漬を多くの方に知ってもらいました。



第60回記念 全国家の光大会

14日▶15日



横浜市で開催された第60回記念大会で、広島県代表として己斐支部の土鼻邦子支部長が「地域を越え、世代を超えて、伝えたいこと」をテーマに体験発表を行いました。また、JA広島市は、「家の光」累計増部実績の部において吉川清二専務が表彰を受けました。



市長と農業者との懇談会

1日

広島市農業振興協議会と広島市農業委員会は、農業者の直の声を広島市長に聞いてもらう「市長と農業者との懇談会」を開催。市長代理として出席した岡村清治副市長を交え、広島市内で葉物野菜を栽培する、安芸区の沖田俊治さん、安佐南区の木下登さん、安佐北区の神田大一さん、佐伯区の大林辰也さんが、「農業で輝くひと～広島近郊6大葉物野菜～」をテーマに取組み事例や課題を発表しました。



広島マリーナホップで マルシェ

25日

「広島市水産まつりinマリーナホップ」に出店し、己斐駅前支店の職員や直販担当者が新鮮野菜や広島菜漬、お米、卵などをPRしました。多くの来場者が足を止められ、管内の農畜産物をご購入いただきました。



レディース講座合同閉講式

16日

平成29年度に4回行われたレディース講座の集大成として、リーガロイヤルホテル広島に482名が集い、閉講式を行いました。皆勤賞209名の代表として水内支部の西ウメヨさんが表彰を受けました。また、テノール歌手下岡寛さんとピアノ奏者平井剛治さんをゲストに迎え、楽しい音楽のひと時を過ごしました。



JA広島市 地産地消クッキング 「食を楽しむ集い」

13日

「地産地消」をテーマに、毎月管内の生産者が育てた食材を使って行う料理教室は開催から2年を経過し、これまで延べ300名の受講者と22名の生産者が参加しました。昨年1年間、教室に食材をご提供いただいた生産者や料理人、受講者が一堂に会し、「食を楽しむ集い」を、ANAクラウンプラザホテル広島のオールデイダイニング「フリュティエ」で開きました。



料理教室で講師を務めるANAクラウンプラザホテル広島の大森一憲シェフから、佐伯区湯来町の木元千鶴さんが生産したタラの芽を使った「湯来町のタラの芽と生ハムのサラダレモン Dressing」がふるまわれ、素揚げとボイルの2種類の方法で調理されたタラの芽の食べ比べを楽しみました。



支店を拠点にふれあい活動

不法投棄ゴミの回収に 小河原支店職員参加

17日

安佐北区の狩小川学区公衆衛生推進協議会が主催して、県道小河原志和線および高鉢林道に不法投棄されたゴミの回収活動を行いました。この活動に賛同した小河原支店の職員も参加し、地域住民約150名とともに不法投棄ゴミを回収しました。山本哲男支店長は「自己改革で取り組む『地域の活性化』の一環として、地域の環境改善に少しでも役立てればと参加した。今後もJAとして地域との絆を大切に地元行事に積極的に参加していきたい」と話しました。



お母さんたちに伝えたい みそづくり LC中筋支部

22日

毎月開く料理教室の一環として行ったみそづくり。小さいお子さんを持つお母さんたちも参加し、19名がみそづくりに挑戦しました。今田定子支部長は「若い人たちと交流するのは楽しい。初めての方もいるので、これを機会に支部活動に参加してほしい」と話します。



JA広島市 ふれあいパーティー 「こいぶみ」

17日

組合員のニーズに応え、一層の結びつきの強化を目指して開催したイベントに、男女合わせて34名に参加いただき、中島尚樹さん・井上恵津子さんの軽快な司会により、ゲームやトークなど楽しいひと時を過ごしていただきました。カップルが成立した4組の方々には、檜山秀夫常務から、はうでい亭ペアお食事券をプレゼントしました。

